

- 問1 九州地方のある県における2019年の農産物産出額の統計では、上位から順に「肉用牛」、「豚」、「ブロイラー（鶏）」、「鶏卵」となっており、上位4品目すべてを畜産関連が占めています。このような特徴を持つ県として最も適切なものを選びなさい。（2022年 宮城県公立入試 類似）
1. 宮城県 2. 福岡県 3. 熊本県 4. 鹿児島県
- 問2 同じ耕地で1年の間に2種類の異なる作物を栽培する「二毛作」を行う主な目的や特徴として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）
1. 地力の消耗を抑えるために、特定の季節には作物を植えずに土地を休ませる。 2. 温暖な気候を最大限に利用して、同じ種類の作物を年に2回収穫し、収穫量を増やす。 3. 特定の季節に収穫時期を早めることで、他の産地よりも高い価格で出荷する。 4. 限られた耕地を1年を通じて有効に活用し、異なる農産物を組み合わせさせて生産する。
- 問3 日本の諸地域に見られる伝統的な住居の工夫について述べた次の文のうち、南西諸島の特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。（2020年 和歌山県公立入試 類似）
1. 屋根の傾斜を急にし、厚い茅（かや）で葺くことで、雪が滑り落ちやすくしている。 2. 住居の北側や西側に「防風林（屋敷林）」を植えることで、冬の厳しい寒風を防いでいる。 3. 敷地の周囲を石垣で囲い、屋根には赤瓦を用いてその隙間を漆喰で固めている。 4. 地面から床を高くした高床式の構造にすることで、地面からの湿気を通さないようにしている。
- 問4 九州地方の長崎県は、その面積が約4,131平方キロメートルで全国37位と小さい部類に入りますが、海岸線の長さは約4,183キロメートルに達し、北海道に次いで全国2位となっています。このように、面積に対して海岸線が非常に長くなっている理由として、最も適切な地形的特徴を選びなさい。（2022年 群馬県公立入試 類似）
1. 島が非常に多く、海岸線が複雑に入り組んでいるため。 2. 半島がほとんど存在せず、県全体が円形に近い形状をしているため。 3. 大規模な干拓事業が行われ、直線的な海岸線が延びているため。 4. 海岸線がなだらかで、広大な平地が海沿いに広がっているため。
- 問5 長崎県の海面養殖業に関する2008年から2013年までの統計データにおいて、生産額は200億円台、生産量は2万トン前後で推移しています。この期間における長崎県の養殖業の特徴を説明した文として、適切なものはどれですか。（2017年 京都府公立入試 類似）
1. 養殖技術の向上によって生産量が急増したため、供給過剰となり生産額は年々大幅に減少している。 2. ふぐの生産だけに特化した産業構造となっており、他の魚種の生産はほとんど行われていない。 3. ぶりやまだい、まぐろ、ふぐなど多種多様な魚種を安定して生産しており、全体として一定の生産規模を維持している。 4. 1トンあたりの単価が非常に安価な魚種ばかりを生産しているため、生産量は多いが生産額は10億円を下回っている。
- 問6 火山の噴火による降灰の広がり方が季節によって異なる地域において、8月には火口から北西方向の市街地側に、2月には南東方向の海側に多く灰が降る現象が見られます。この背景にある「季節風」と降灰の関係について、正しい記述を選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）
1. 冬は南東からの季節風が吹くため、火山灰が火口の南東側に運ばれやすくなる。 2. 夏は北西からの季節風が吹くため、火山灰が火口の南東側に運ばれやすくなる。 3. 夏は南東からの季節風が吹くため、火山灰が火口の北西側に運ばれやすくなる。 4. 冬は北西からの季節風が吹くため、火山灰が火口の北西側に運ばれやすくなる。
- 問7 九州地方の阿蘇山などで見られる、火山の噴火によって地下のマグマが噴出した後、山頂部が陥没するなどして形成された大規模な凹地を何といいますか。（2019年 愛知県公立入試 類似）
1. リアス海岸 2. カルデラ 3. 楯状火山 4. シラス台地
- 問8 宮崎県において、農業産出額に占める畜産の割合が他の都道府県と比較して際立って高い理由として、自然環境や土地利用の背景をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。（2018年 岩手県公立入試 類似）
1. 広大なシラス台地が広がり水田稲作に適さない土地が多いため、広域な土地を利用した家畜の飼育が行われてきた。 2. 年間を通して降水量が極めて少なく乾燥しているため、農作物の栽培よりも家畜の管理に適している。 3. 冬の寒さが厳しく、ビニールハウスを利用した施設園芸農業よりも、室内で行う畜産業の方が効率が良いため。 4. 大消費地である東京圏に隣接しており、鮮度が重要な生乳や精肉を短時間で出荷できる有利な立地条件にあるため。
- 問9 沖縄などの南西諸島に見られる伝統的な家屋では、家の周囲を丈夫な石垣で囲む工夫がなされています。このような造りになっている主な理由として、地域の自然環境の特徴と関連付けて説明したものを選びなさい。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 近くにある大規模な飛行場などの軍事基地から発生する激しい騒音を遮断するため。 2. 冬の季節風によって運ばれてくる大量の積雪から家屋が押しつぶされるのを防ぐため。 3. 標高が低く、周辺の河川が氾濫した際に浸水被害を最小限に食い止めるため。 4. 夏から秋にかけて頻繁に接近・上陸する台風による激しい風から家屋を守るため。
- 問10 日本の諸地域の気候を統計資料から判別する場合、宮崎県（宮崎市）のデータに該当する特徴的な数値の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）
1. 8月の平均気温は約28度まで上がるが、年間の降水量は1200mm程度と非常に少ない。 2. 1月の平均気温が約10度と高く、さらに6月と9月に降水量の大きなピークが見られる。 3. 1月の平均気温が約5度であり、12月から2月にかけての降水量が1年で最も多い。 4. 1月の平均気温が氷点下となり、年間の降水量は季節による大きな変動がなく一定である。
- 問11 宮崎県など九州南部で収穫されたきゅうりは、東京などの遠方の消費地まで運ぶ際、明け方に収穫したものをフェリーなどを利用して1日以上時間をかけて輸送しています。このように、消費地から離れた遠隔地において、輸送コストを抑えながら大量の農産物を運ぶために行われる工夫について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 東京都公立入試 類似）
1. 高速道路の網羅的な整備により、すべての収穫物を当日中に消費者の元へ届けるトラック輸送が主流となっている。 2. 品質の劣化を防ぐため、消費地の近くに大規模な植物工場を建設し、輸送そのものを不要にする取り組みが中心である。 3. 輸送時間を最短にするため、すべての農産物を地方空港から航空機を用いて数時間で都市部へ届けている。 4. 保冷コンテナや長距離フェリーなどを活用し、鮮度を保ちながら一度に大量の物資を輸送する仕組みを整えている。
- 問12 九州地方に位置するある県の農業統計を確認すると、農業産出額の総計が全国でもトップクラスであり、品目別の内訳では米や野菜の金額に比べて、肉用牛や豚、鶏などの「畜産」の金額が突出して高いという特徴があります。この県として正しいものを選んでください。（2020年 鳥取県公立入試 類似）
1. 鹿児島県 2. 千葉県 3. 新潟県 4. 愛知県